

2026年 3月 25日

カイゲンファーマ株式会社

【黄ぐすみ研究で2つの成果】

自社素材「カルボクリア™」が特許取得、学会にて効果を発表

カイゲンファーマ株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：笠松尚志）は、コンブ仮根抽出エキス末とローズマリー乾燥エキスから成る弊社独自素材「カルボクリア」を開発しました。併せて、「カルボクリア」の組成、用途に関して、特許（特許番号：第 7812971 号）を取得しました。また、このカルボクリアと天然由来原料 5 種類をブレンドすることで生まれた画期的なオリジナル素材「カルボクリア MP」について、「抗カルボニル化作用」に関する研究成果を 2025 年 9 月 27, 28 日に開催された「日本皮膚科学会東部支部学術大会」にて発表したことをお知らせいたします。

● 背景

近年、消費者の美容ニーズは多様化しています。特に、肌の透明感を損ねる黄ぐすみと、その対策である「抗カルボニル化^{※1}作用」は市場においてその注目度を高めています。

弊社は長年にわたり紫外線対策や透明感に関する素材開発に取り組んでおりました。研究開発を進める中でカルボクリアが優れたカルボニル化抑制効果を持つことを新たに発見し、特許を取得いたしました。さらに、このカルボクリアにマリンポリフェノール[®]^{※2}（褐藻類抽出エキス末）、ヒシ、マロン、シトラス、ザクロを混合することでパワーアップさせたカルボクリア MP について研究をすすめ、その成果を学会発表いたしました。

※1 カルボニル化は紫外線などにより脂質から生じた過酸化脂質がタンパク質と反応することです。

※2 マリンポリフェノール[®]は国立大学法人三重大学の登録商標です。

7種類のエキス末を配合した弊社独自の酸化・糖化・カルボニル化対策素材



- 取得した特許について

カルボクリアについて、以下の特許を取得しました。今後この特許技術を、抗カルボニル化作用を持つ製品の開発に応用して参ります。

<特許概要>

特許番号	第 7812971 号
発明の名称	組成物、カルボニル化抑制剤、及び、カルボニル化抑制方法
登録日	2026 年 2 月 2 日
発明の概要	昆布仮根部抽出物及びローズマリー抽出物を含む優れたカルボニル化抑制効果を発揮する組成物

- 学会発表の内容

今回の学会では、「カルボクリア MP の抗カルボニル化作用に関する基礎研究及び応用可能性」をメインテーマに発表いたしました。主な発表内容は以下の通りです。

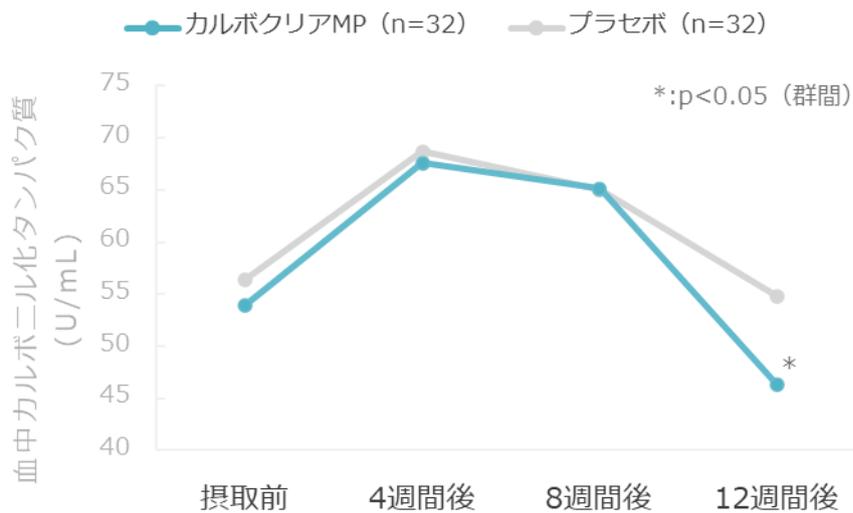
- ・ 抗カルボニル化、抗酸化、抗糖化作用に対する作用成分の推察
- ・ *in vitro* 試験で他成分と比較した際の各種活性の優位性評価
- ・ ヒト試験による抗カルボニル化作用の有効性評価ならびに製品への応用可能性

また、発表内容から2つのヒト試験データをピックアップしてご紹介いたします。

まず、カルボクリアMPを12週間継続摂取することによって血中カルボニル化タンパク質の減少が認められました。

摂取し続ければ カルボニル化タンパク質の少ない体に

血中カルボニル化タンパク質



採血を行い、血中カルボニル化タンパク質を測定

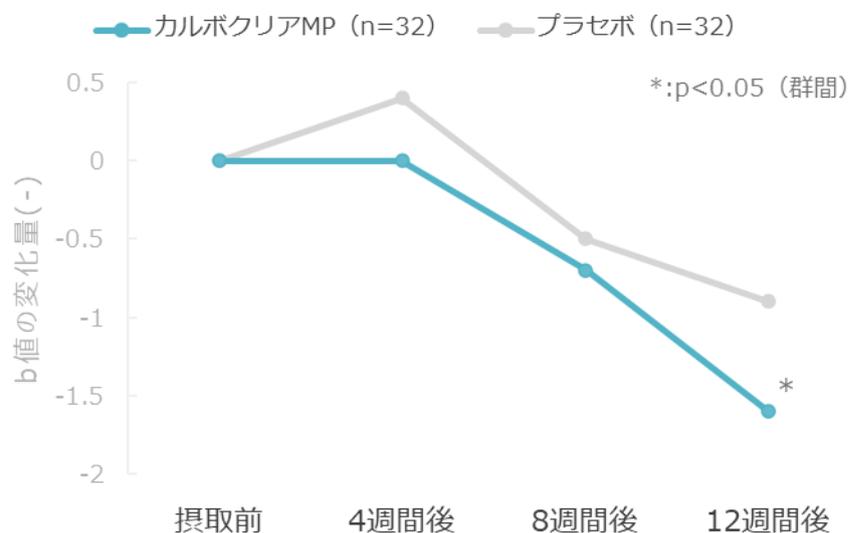
結果

摂取12週の実測値にて被験食品群が対照食品群より有意に低値を示した。

次に、カルボクリア MP を 12 週間継続摂取することによって b 値（黄ぐすみ）の低減が認められました。

摂取し続ければ 黄ぐすみが低減された肌に

b 値（黄ぐすみ）



VISIAにて測定したデータよりPhotoshopにてb値（黄ぐすみ）を算出

結果

摂取12週の変化量から被験食品群が対照食品群と比べて有意に低値を示した。

本発表により、紫外線等が要因で生じるカルボニル化タンパク質がもたらす肌の透明感の低下に対して、カルボクリア MP が優れた肌保護効果を発揮することが示唆されました。

試験目的	カルボクリア MP を摂取することによる肌保護効果を検証する。
試験デザイン	プラセボ対照二重盲検並行群間比較試験
対象	20 歳～65 歳の日本人女性 64 名
摂取期間・方法	12 週間、1 日 1 カプセル（343 mg）のカルボクリア MP 配合物を朝食後に水またはぬるま湯で摂取する。
検定方法	Student's t-test
評価項目	血液検査、VISIA による顔面画像診断

【このプレスリリースに関するお問い合わせ】

カイゲンファーマ株式会社 koho@kaigen-pharma.co.jp